

ワークシート(第5章 EPISODE)

EPISODE 5-1

● やる気のでないしくん

しくん(小学5年生)は、勉強があまり得意ではありません。好きな教科では、先生の話の聞いたり、意見を求められれば積極的に発言することもあります。苦手な教科では、最初から落ち着かない様子であることも多く、筆箱や文具をいじったり、横の友だちに話しかけたりしています。教師からは、やる気にむらのある子、あるいはやる気のない子どもとみなされています。

教師は、折に触れて、どんな授業でも、いいかげんにせずまじめに取り組むことが大事であることを話しますが、なかなかうまくいきません。

個人面談があったときにも、やる気がでないという本人の気持ちはわかるが、クラスの他の子ども、教科の好き嫌いがあっても、それなりにちゃんとやっていることを伝え、勉強にはがまんも必要だと指導しました。しかししくんの行動は変わらず、授業や先生によっては寝て過ごしたり、宿題をやらなくても平気であるような態度もみられるようになり、周りの子どもたちからは、しくんはそういう人だとみなされるようになり、先生自身もどうしたものかと悩んでいます。



EPISODE 5-2

● 教師による期待のコミュニケーション

教師は、子どもたちが問題に取り組んでいる様子を机間巡視しています。

生徒「5番の問題、わかりません」

教師「どこまでならわかる？」

生徒「なんでこうなるのか、わかんない。無理」

● 教師 M の声かけ

教師 M 「はじめの2問はわかっているから、その考え方で途中まではできるはず。前の問題のどこかが、この問題を解く手がかりになります。向こうの列まで先生が見廻ってくるので、戻ってくるまでの間に、ヒントをみつけておいてね」

● 教師 N の声かけ

教師 N 「どうしてすぐに投げ出すのかな。先生はすごく残念です。できない、というのは自分でできるかもしれないことを投げ出しているのですよ。もっと頑張って考えたらわかるかもしれないのに。みんなできることはできるでしょ」

(出所) Brophy, 2004/2014 を改変。

● 本章での学びを踏まえて、EPISODE 5-2 を次の視点で検討してみましょう。

- ① みなさんが教師 M, 教師 N に教えられている生徒なら, このようなやりとりを通じてどう感じるでしょうか。教師の意図や言葉が生徒や相互のコミュニケーションに与える影響を考えてみましょう (教師期待効果に関しては 10 章 2 節参照)。
- ② 先生はなぜこういう声かけをしていると思いますか。その理由を考え, 話しあってみましょう。

(EPISODE5-2 記入欄)

- ① みなさんが教師 M, 教師 N に教えられている生徒なら, このようなやりとりを通じてどう感じるでしょうか。教師の意図や言葉が生徒や相互のコミュニケーションに与える影響を考えてみましょう (教師期待効果に関しては 10 章 2 節参照)。

- ② 先生はなぜこういう声かけをしていると思いますか。その理由を考え, 話しあってみましょう。

●本章での学びを踏まえて、EPISODE 5-1 を次の視点で検討してみましょう。

- ③ 「Lくんのやる気のなさ」について、本人の視点、教師の視点、クラスメイトの視点から、どのような解釈が可能でしょうか。
- ④ 「Lくんのやる気のなさ」を理解し改善するには、教師はどんなことに注意し、はたらきかける必要があるでしょうか。
- ⑤ 教師の立場に立って、どのような指導を計画することが可能か、考えてみましょう。

(EPISODE5-1 記入欄)

③「Lくんのやる気のなさ」について、本人の視点、教師の視点、クラスメイトの視点から、どのような解釈が可能でしょうか。

④「Lくんのやる気のなさ」を理解し改善するには、教師はどんなことに注意し、はたらきかける必要があるでしょうか。

⑤ 教師の立場に立って、どのような指導を計画することが可能か、考えてみましょう。

記入者名：

(日付： 年 月 日)